Update Today!
～昨日より一歩前へ～

始めあらざるなし、克(よ)く終わりある鮮(すくな)し

皆さんが入学してから早くも1か月が経とうとしていることに、月日の流れが速いなと感じたり、まだ1か月か・・・と感じている人それぞれいると思います。4月は多くの行事があり、学校のこと、クラスメイトのこと、先生のことなど覚えきれないうちにバタバタと日々を過ごしたことと思います。新しい環境になり、様々なストレスを感じ、心身ともに「疲れ」が出ていた生徒もいたかもしれませんね。

そんな中、待ちに待ったGWはどのように過ごしましょうか？GW明けは「五月病」と名前があるように、なんとな～く体が重たく感じることがあります。家族、友達との時間や部活に宿題、メリハリをつけて休日の過ごし方を工夫しましょう！

さて、今回はこの言葉を紹介します。**「始めあらざるなし、克く終わりある鮮し」**
この言葉の意味は、何事も初めは誰もが計画を立てて一生懸命するが、それを終わりまで全うする者は少ないということです。すなわち、終わりまで全うすることの大切さを説いた言葉です。皆さんは2泊3日の研修合宿であいさつや時間を守る、相手を尊重するなど様々な活動・講話を通して学んできました。
まだまだ始まったばかりの高校生活。学んだことを卒業まで、社会人になっても全うできる人になってください。

《5 月予定》

8 日（金）	選科説明会（生徒向け）
15 日（金）	眼科検診
19 日（火） ～ 22 日（金）	中間考査、避難訓練
29 日（金）	眼科検診

いよいよ中間テスト!

5月 19 日からは中間テストが実施されます。本校は高校から習う科目も多く、全員横並びのスタートなので、今まで勉強が苦手だった人も精一杯準備して取り組みましょう！

高校に入学して初めてのテストとなりますので、高校生活・進路実現のためのスタートダッシュを切れるように準備していきましょう！

～お知らせ～

教務規定について確認しておいてもらいたい項目を抜粋して載せておきます。各自で確認しておいてください。

単位取得の認定

1. 履修が認定され、かつ評定2以上の場合は単位を修得したと認める。
2. 履修が認定され、かつ当該学年において、評定1の科目が4科目以内の場合は、追認考査を受け、認定することができる。※5科目以上は受けられない。

進級の認定

1. 修得出来なかった科目が2科目以内　※専門科目は1科目以内
2. HR などの特別活動の欠課時数が全実施時数の4分の1以下であること。

定期考査及び成績

1. 不正行為をした者は、当該科目の考査点を0点とする。
2. 欠席した者に対しては次のとおりにする。
   ア. 正当な理由（病気欠席、公認欠席、欠課）で欠席の場合は、見込み点を与えるか再考査を実施する。
   イ. 正当な理由なくして欠席した者については当該科目の考査点を0点とする。
   ウ. 2学期間にわたって定期考査を全部欠席した科目は評定1とする。
   エ. 1・2学期は10段階、学年末は10段階と5段階評定を記入する。

～研修合宿を終えて～

15 日から2泊3日で行われた研修合宿では、寝食を共にすることで仲間達のことを知り、仲が深まりました。また、集団行動をはじめとする活動を通してクラス・学年への帰属意識、集団力が強まったと思います。研修合宿で学んだことを日々の学校生活に生かして、1年生が学校を盛り上げ、引っ張っていけるように取り組んでいきます!!

以下、生徒の感想を一部紹介します。

今回の研修合宿を通して、普段の学校生活では学べない多くのことを経験することができました。最初は慣れない環境で不安や緊張もあったが、仲間と一緒に行動することで少しずつ慣れていきました。特に集団訓練では全員で動きをそろえることの難しさを感じましたが、声を掛け合いながら協力することで達成感を味わうことができました。

この 3 日間で仲間と協力することや自分から行動することの大切さを学んだので、これからの学校生活でも活かしていきたいです。

僕はこの研修合宿で洲本実業生としての自覚、そしてクラスメイトとの仲が深まったと感じています。最初は思い通りにならないこともありましたが、最終日には班で協力して行動することができました。
この研修合宿で学んだことを忘れずに、日ごろから意識して生活していきたいです。
また、クラスメイトとも協力してより良い学校生活を送っていきたいです。

ネットトラブル講演会

講演では、SNS や動画共有サービスなど、日常的に利用しているインターネットの中に潜むリスクについて具体的な事例をもとに学びました。何気ない投稿が思わぬトラブルにつながる可能性や、情報の受け取り方・発信の仕方の大切さについて、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

特に、「自分は大丈夫」と思い込まず、一人ひとりが正しい知識を持って行動することの重要性について理解を深める機会となりました。

今後も本校では、生徒が安心・安全にインターネットを活用できるよう、継続して指導を行ってまいります。ご家庭におかれましても、日頃の利用状況について話し合っていただくなど、ご協力をお願いいたします。